



国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し 世界を知るセット 小学校高学年向 資料解題

この冊子は、学校図書館セット貸出しに含まれる本の解説です。
本の紹介、展示の作成や、学校図書館での選書などにご利用下さい。

No	書名	出版社	出版年	請求記号	関連国・地域
1	世界の国旗・クイズ図鑑	あかね書房	2011	Y1-N12-J30	—
2	ワールド・ウォッチ	丸善出版	2014	Y2-N14-L76	—
3	まるいちきゅうのまるいちにち	童話屋	1986	Y18-1755	—
4	いっぼんの鉛筆のむこうに	福音館書店	1989	Y1-1270	—
5	はがぬけたらどうするの？	フレール館	1999	Y11-M99-405	—
6	せかいのひとびと	評論社	1982	Y1-462	—
7	世界のお金100	講談社	2011	Y1-N11-J147	—
8	絵で見るナイル川ものがたり	さ・え・ら書房	2004	Y2-N04-H41	アフリカ
9	絵本アフリカの人びと	偕成社	1982	Y1-405	アフリカ
10	民族衣装絵事典	PHP研究所	2006	Y2-N06-H64	—
11	こども世界の民話. 上	実業之日本社	1995	Y9-2109	—
12	こども世界の民話. 下	実業之日本社	1995	Y9-2109	—
13	手で食べる？	福音館書店	2005	Y2-N05-H28	—
14	アジアのお菓子 2	岩崎書店	2005	Y1-N05-H126	アジア
15	中東・アフリカのお菓子	岩崎書店	2005	Y1-N05-H127	中東, アフリカ
16	世界あちこちゆかいな家めぐり	福音館書店	2004	Y2-N04-H196	—
17	世界の建物たんけん図鑑	集文社	1993	Y6-1476	—
18	韓国・朝鮮と出会う	国土社	1999	FC71-G287	韓国
19	中国の小学生 (アジアの小学生 1)	学研教育出版	2011	Y2-N11-J117	中国
20	ブラジル (世界のともだち 3)	偕成社	2013	Y2-N14-L12	ブラジル
21	アメリカ (世界のともだち 6)	偕成社	2014	Y2-N14-L27	アメリカ
22	クジラがとれた日	ポプラ社	2001	Y2-N01-105	インドネシア
23	北・東ヨーロッパの鉄道	旺文社	2006	Y1-N06-H60	北欧, 東欧
24	世界のあいさつ	福音館書店	1989	Y2-980	—
25	سلام (ペルシャ語)	—	—	Y17-AZ1621	イラン
26	ラテン文字と世界の言葉	小峰書店	2005	Y8-N05-H491	—
27	अ आ इ और क ख ग (ヒンディー語)	—	—	Y5-AZ182	インド
28	世界の外あそび	今人舎	2004	Y12-N04-H258	—
29	世界のじゃんけん	今人舎	2002	Y12-N03-H29	—
30	なぞなぞ100このほん	福音館書店	1994	Y12-3149	ロシア
31	さんねん峠	岩崎書店	1981	Y17-7552	韓国
32	かいじゅうたちのいるところ	富山房	1975	Y17-4623	アメリカ
33	Where the wild things are (英語) (かいじゅうたちのいるところ)	HarperCollins	1991	Y17-A1163	アメリカ
34	Ellsworth's extraordinary electric ears and other amazing alphabet anecdotes (英語)	Atheneum Books for Young Readers	2003	Y17-B4273	アメリカ
35	アラスカたんけん記	福音館書店	1990	Y2-999	アメリカ
36	ジス・イズ・パリ	ブルース・インターアクションズ	2004	Y2-N05-H127	フランス
37	ミラクルバナナ	学習研究社	2001	Y18-N01-100	ハイチ
38	I numeri (イタリア語) (英語)	Corraini editore	1997	Y17-A2566	イタリア



International Library of Children's Literature

国立国会図書館 国際子ども図書館

世界の国旗・クイズ図鑑

辻原康夫 監修

あかね書房 2011年

2011年5月末現在の情報をもとに、約200カ国の国旗を紹介した本。各国の位置が地図上で確認でき、よく似た絵や色の国旗をクイズ形式で学ぶことが出来る。国旗に込められた意味や願いを知ることによってその国を知るきっかけになる。巻末には国名を五十音順で並べた索引、両見返しには国名表示付の世界地図もある。絵本や物語を読んだ後、興味を持った国について調べてみるのも面白い。

ワールド・ウォッチ：地図と統計で見る世界

こどもくらぶ 訳

丸善出版 2014年

世界の国々や地域の状況が、色鮮やかな地図やグラフで示され、「人口」「教育・健康」「経済」「環境」の種別に分けられ、切り口ごとに見開きになっている。丸囲みに入った数字や事実が目を引くが、一歩進んでその理由や背景を探ることで理解を深める入口になる。巻末には国ごとの統計と索引がある。原書は英国で出版されたもの。

まるいちきゅうのまるいちにち

エリック・カールほか 作；安野光雅 編

童話屋 1986年

世界8カ国の絵本作家たちが、グリニッジ標準時1月1日午前0時から丸一日間の、8カ国の子どもたちそれぞれの様子を描いた絵本。見開き2ページが8つの枠に区切られており、同時刻の子どもたちの様子を一度に見比べてみるができる。日本の元日の朝9時に、他の国の子どもたちはいったい何をしているだろう。昼夜も違えば季節も違う、地球上のまだ見ぬ国々。地球儀などで実際にその国の位置を確かめながら読むと、より理解が深まるだろう。

いっぼんの鉛筆のむこうに

谷川俊太郎 文；坂井信彦ほか 写真；堀内誠一 絵

福音館書店 1989年

私たちの身近にある鉛筆。鉛筆ができるまでを取り上げ、その過程をになうスリランカ、アメリカ、メキシコ、日本の人々の仕事、家族、生活を写真とイラストをまじえて紹介している。たくさんの人が関わってはじめて一本の鉛筆ができることを実感できる。鉛筆から日本と世界のつながりが見えてくる。

はがぬけたらどうするの？

セルビー・ビーラー 文；ブライアン・カラス 絵 こだまともこ 訳

石川烈 監修

フレーベル館 1999年

乳歯が抜けた時、抜けた歯をどうするか。世界中64の地域から集めた、言い伝えや風習を紹介した本。例えば、ヨーロッパのデンマークでは、歯を枕の下に置いて寝ると歯の妖精が来てお金と取り替えてくれる。南アメリカのチリでは、ぬけた歯をペンダントやイヤリングにする。巻末には歯の種類や仕組みがわかる知識のページがある。歯が生え変わる時期の子どもたちが異文化に触れるのに最適である。

せかいのひとびと

ピーター・スピアー えとぶん；松川真弓 やく

評論社 1982年

大型絵本の見開きいっぱい、地球上の様々な場所で様々な生活が繰り広げられている様子が緻密に描きこまれており圧巻である。子どもたちは、世界の人々の驚くばかりの多様性に圧倒されることであろう。

世界のお金 100 (しらべ図鑑マナペディア)

グループ・コロンブス 構成 名倉克隆 監修

講談社 2011年

2011年1月現在のデータをもとに、世界各国と日本のお金を国別、時代別にカラー図版と解説で紹介した本。お金の種類として私達の生活に身近なコイン、貨幣、紙幣から、石貨、大判、小判、記念硬貨、電子マネーまで幅広く取り上げている。他、コラムと本の両見返しには日本と世界のできごとと貨幣に関する事柄を付した略年表があり、お金の知識を深めるのに役立つ。

絵で見るナイル川ものがたり

スティーブ・ヌーン 絵；アン・ミラード 文；松沢あさか 訳

さ・え・ら書房 2004年

世界最長の川ナイル川。ビクトリア湖に流れを発し、アフリカ大陸を南から北へ、全長約7,000kmを旅して地中海に注ぎ込む。また、世界最古の文明であるエジプト文明を育み、現在に至るまでの長い時間を旅する川でもある。この本は、水源から河口までを辿りながら、ナイル川の時間旅行を自在に楽しむという構成になっている。見開きいっぱい細かに描き込まれた絵には、どのページにもどこかに「ペリカン」が登場するというお楽しみ的なしなかけがある。歴史の流れを把握しづらい面はあるが、気軽に眺めて楽しみたい。著者のアン・ミラードは、エジプト遺跡発掘にも従事したという経験を持つ。

絵本アフリカの人びと

ディロン夫妻 絵；マスグローブ 文；西江雅之 訳

偕成社 1982年

アフリカには何百もの異なる部族民が住み、豊かな伝統、習慣を形成しているが、その中でも26部族を選んで、それぞれが大切に守っている習慣を描いた絵本。風土を伝える美しい絵と解説が部族名のABC順に並んでおり、アフリカに暮らす人々の多様性をおのずと感ずることができる。アメリカの最も優れた絵本に与えられるコルデコット賞を1977年度に受賞。さらに、ディロン夫妻はそれまでの業績が評価され、1978年度の国際アンデルセン賞画家賞を受けている。

民族衣装絵事典

高橋晴子 監修；MCDプロジェクト 編

PHP研究所 2006年

衣服だけでなく、帽子、靴、指輪などのアクセサリーも含めた世界各地の民族衣装を紹介した写真事典。衣装にまつわる歴史、風俗、習慣も知ることができる。事典をながめながらアジア、ヨーロッパ、中東、アフリカ、南北アメリカ、と民族衣装の旅をしていくと、遠い国のことが身近に感じられるようになってくる。本著には、国立民族学博物館が協力している。

こども世界の民話 上・下

内田莉莎子 ほか 著

実業之日本社 1995年

本書は語りのテキストとしてよく使われている『子どもに聞かせる世界の民話』全81話の中から、約半数の42話を選びすぐり、子どもたちが自分で読みやすいように文章を練り直したもの。世界各地の昔話を優れた翻訳で楽しむことができる。活字が大きく、ルビが丁寧にふられているので、本が苦手な子どもにも読みやすい。もちろん読み聞かせにも向く。

手で食べる？

森枝卓士 文・写真

福音館書店 2005年

『食べもの記』の著者による作品。手で食べたり、箸やナイフ、フォーク、スプーンを使ったりと、世界にはいろいろな食べ方があり、道具もさまざま。なぜ、こんな食べ方をするのだろう。子どもたち

が実際にそれぞれの食べ方を体験しながら、食文化を検証していく。単に食事風景の紹介にとどまらず、歴史にも触れられており、興味深くかつ魅力的な構成になっている。

アジアのお菓子 2 (どんな国? どんな味? 世界のお菓子 2)

中東・アフリカのお菓子 (どんな国? どんな味? 世界のお菓子 3)

服部幸應, 服部津貴子 監修・著
岩崎書店 2005年

子どもたちが大好きなお菓子。世界中のお菓子を紹介する全6冊のシリーズ。

第2巻は、東南アジアや南アジアに加え、太平洋やカリブ海の島国のトロピカル・フルーツを使ったお菓子を取り上げている。ハロハロやラッシーなど、日本で既になじみ深い甘味も多い。

第3巻は、普段あまり見慣れない中東、アフリカの伝統的なお菓子が紹介されている。料理学校の先生による監修で、食材や作り方についての説明があり、実際に作ってみることができる。各国の伝統や文化についてのコラムも興味深い。

第1巻は日本、韓国、中国と一部の東南アジア、第4・5巻はヨーロッパ、第6巻は南北アメリカ。

世界あちこちゆかいな家めぐり

小松義夫 文・写真; 西山晶 絵
福音館書店 2004年

おもしろい形の家をさがして世界中を訪れている。本著では、著者が訪ねた家とその家で暮らす人々の様子が紹介されている。モンゴルのゲル、中国の土楼など10の地域の家がとりあげられ、家の外観写真と内部のイラストが対になっている。内装、間取り、生活習慣などが分かるので、じっくりと楽しんで欲しい。

世界の建物たんけん図鑑

パオロ・ドナティ イラスト; フィリップ・ウィルキンソン 文
内田加奈子 訳
集文社 1993年

古代のクノッソス宮殿から現代のトロント・スカイドームまで、世界の歴史的・特徴的な21の建築物の内部と構造を、イラストと共に解説した大版絵本。建造物の建てられた背景や使われ方、特徴などが詳しく説明されている。タイムスリップして往時の建物を訪れてみたい。建物の現在の姿も写真で紹介されている。

韓国・朝鮮と出会おう—国際理解ハンドブック

ヨコハマハギハッキョ実行委員会, 山本すみ子 編著
国土社 1999年

韓国・朝鮮の食べ物や工作、言葉と文字、音楽・ゲームなど、絵とルビのついた解説文で楽しく紹介する。たとえば、韓国料理ペクソルギの作り方、巾着袋(チュモニ)の作り方、すごろく(ユンノリ)の遊び方、お面の解説など充実した内容である。子供たちの反応が書かれていて、参考になる。

この「国際理解ハンドブック」シリーズは、他に「中国」「ブラジル」「フィリピン」もある。

中国の小学生 (アジアの小学生1)

河添恵子 取材・編集・執筆
学研教育出版 2011年

北京の公立小学校と、郊外の私立小学校の授業や学校生活、4人の小学生の趣味や習い事、家族との生活など、カラー写真を通して隣国の子もたちの等身大の姿が紹介されている。また、卓球や書道、京劇など中国ならではの習い事事情が分かるほか、工芸品や楽器、少数民族などについても書かれており、小学生の目を通して中国の伝統と今を知ることができる。

ブラジル（世界のともだち 3）

永武ひかる 写真・文

偕成社 2013年

アメリカ（世界のともだち 6）

鈴木智子 写真・文

偕成社 2014年

世界の子どもたちの生活を紹介する写真絵本シリーズ。1冊ごとに1人の子どもに密着し、家庭、学校、地域などさまざまな側面からその国や都市での暮らしを伝える。巻末には、地理・歴史のデータを掲載する。

第3巻ではリオデジャネイロに住む11歳のミゲルくんにも密着し、真夏のクリスマス、有名なカーニバル、都会から近いビーチなどリオデジャネイロの風景と合わせて子どもの生活を紹介します。

第6巻ではカリフォルニア州に住む12歳のコリンくんの生活を紹介します。学校生活の描写が詳しく、教室内の見取り図や、多様なルーツを持つクラスメートのお弁当、小学校卒業直前の過ごし方などが紹介されている。

クジラがとれた日（シリーズ自然いのちひと 1）

小島曠太郎，えがみともこ 写真・文

ポプラ社 2001年

インドネシアは、たくさんの大きな島と小さな島から成り立っている。その中のある小さな島では、村人たちは昔からクジラやサメを捕って生活してきた。この本では、クジラ捕りの1日の様子がびっくりするほど生き生きとした写真で描かれている。村人たちが400年間続けてきた漁の方法と、今でもそれを続ける理由を知ることによって、生きるために食べなくてはならない私たち人間が、知らず知らずのうちに日々受けている自然の深い恵みに気づかされる。

北・東ヨーロッパの鉄道

秋山芳弘 著；こどもくらぶ 編

旺文社 2006年

世界の鉄道と各地の暮らし、文化を紹介するシリーズの1冊。本書では「北欧4か国」、スウェーデン・ノルウェー・フィンランド・デンマークに加え、東ヨーロッパの国々の鉄道がとりあげられている。著者はこの本に登場するすべての列車に乗車しており、写真は実際に乗った気分になれるほど臨場感にあふれている。ノルウェーのベルゲン急行、シグナチュール、ノルド・ピレン（北の矢）号などのほか、運転士以外は駅員も車掌もすべて子どもたちという「子ども鉄道」も興味深い。巻末には各国の面積や人口、鉄道規模を掲載したデータが付されている。

世界のあいさつ

長新太 さく

福音館書店 1989年

おじさんとねこが挨拶を調べに世界を旅するという、漫画風の絵でさまざまな国の挨拶の仕方を紹介した楽しい本。言葉よりも、しぐさや行動に注目している。他の国の人々から見れば日本人がするおじぎの挨拶も珍しいらしいが、抱き合ったり相手のにおいをかいだり、舌を出したり、相手の手首を握ったり、などという挨拶の仕方は、大変興味深く、異文化を理解する上で助けとなるだろう。

سلام（ペルシャ語）サラーム

Sazokar Publishing；1998

イランの絵本。タイトルの「サラーム」は、もともとは「平安」という意味だが、イランでは挨拶言葉として広く使われている。男の子が朝目覚めてから小学校に行くまで、家族や商店の人たちに「サラーム」と挨拶をする。人々は笑顔で男の子を振り返る。ほとんどがイラストの絵本で、日常のひとこまが描かれているため、とても親しみやすい。初刷は1985年。

ラテン文字と世界の言葉（世界の文字と言葉入門 16）

町田和彦 監修・著
小峰書店 2004年

世界の文字と言葉を紹介するシリーズの最終巻。世界の多くの地域で使われているラテン文字（ABCなど）について、文字の歴史、世界への広がり方、言語による読み方の違いなどを紹介する。解読が進む未解読の文字などにも触れられており、解読中のマヤ文字 50 音表を使って、実際に自分の名前を書いてみるができる。シリーズのまとめとして、文字の世界地図と、世界の言語を語族などに仲間分けした解説がある。個々の文字と言葉に興味を持ったなら、シリーズの各巻も参照したい。

अ आ इ और क ख ग（ヒンディー語）

ア、アー、イとカ、カ、ガ

Vinita Krshna Girija Rani Asthana Jagdis Josi
c1998

出版者の「児童文学作家・イラストレーター協会（AWIC）」はインドで使用される各言語の識字絵本を作成している機関。ヒンディー語版であるこの本ではアナル（ざくろ）からハルワーイー（菓子屋）まで、生活に身近な人、果物、動物、植物などの短い詩でヒンディー語の文字が学べる。インド人画家によるインドの風俗を表した絵も興味深い。

世界の外あそび

こどもくらぶ 編
今人舎 2004年

「大人と子どものあそびの教科書」シリーズの1冊。みんなが参加して、楽しむことができる世界のさまざまな外あそびが紹介されている。「にげて、にげて！おにごっこ」「みんなで協力！チーム対抗ゲーム」などの7つのカテゴリーのもと、各国のあそびが掲載されており、最初に日本でのゲームのやり方が書かれているため、日本と各国のあそびの違いを認識しやすい。各ゲームのやり方が図入りで説明されているので、実際にあそびを体験しながら異文化に触れてみるとよいだろう。

世界のじゃんけん

こどもくらぶ 編
今人舎 2002年

「大人と子どものあそびの教科書」シリーズの1冊。「となりの国のじゃんけん」「東南アジアのじゃんけん」など地域ごとに各国のじゃんけんが紹介されており、子どもたちにとってたいへん身近なじゃんけんあそびを通じて、国際理解を深めていくことができる。日本のグー、チョキ、パーにあたる手の形の意味は各国さまざま。また日本のように「グー、チョキ、パー」の3すくみではなく、4すくみ、5すくみの国や、じゃんけんをしない国もある。各国の比較を楽しむと同時に、機会があれば出身国のじゃんけんを話題にしながら国際交流を試してみるのもよいだろう。

なぞなぞ 100 このほん

M.ブラートフ 採集；松谷さやか 編・訳；M.ミトゥーリチ 絵
福音館書店 1994年

「うまれたときからひげがはえているのはだれ？」、答えは「ねこ」。旧ソ連の昔話研究者が編んだ本より、100個のなぞなぞを選び、ロシアの代表的な画家であるミトゥーリチがイラストを描いた絵本。少し難しいなぞなぞもあるが、イラストが大きなヒントとなっている。答えはページの端に逆さまに記されている。巻末にはどの民族のなぞなぞかを示した一覧がある。

さんねん峠—朝鮮のむかしばなし（新・創作絵本 21）

李錦玉 作；朴民宜 絵
岩崎書店 1981年

「さんねん峠でころんだならば、三年きりしか生きられぬ」と言い伝えられているさんねん峠。そこで、ころんでしまい「寿命は三年」と青くなったおじいさんは、若者のトルトリの知恵で元気をとりもどす。読み聞かせにも向く朝鮮の昔話。

かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック；さく、じんぐうてるお やく
富山房 1975年

Where the wild things are (英語) かいじゅうたちのいるところ

Maurice Sendak 1963

マックスは、家の中で大暴れをして、寝室に放り込まれる。やがて、寝室に森が現れ、大海原が出現し、マックスは船に乗り「かいじゅうたちのいるところ」へ向かう。

読み聞かせでは、頁をめくる間を十分とりたい。かいじゅうたちの王様になって大いばりで暴れるマックスと、寂しくなるマックスの対比、そして家に帰り着いた時に温かい夕食が置かれている場面が見どころ。表紙は人間の足をしたかいじゅうたちである。

Ellsworth's extraordinary electric ears and other amazing alphabet anecdotes (英語)

びっくりアルファベット小話集

Valorie Fisher

Atheneum Books for Young Readers c2003

アメリカのアルファベット絵本。タイトルや本文は単語の頭文字を揃えた言葉遊びになっており、そのナンセンスな言葉遊びの世界を、人形やジオラマを使ってアルファベットで始まるものをビジュアル化した写真絵本。ユーモラスな写真を眺めているだけでも楽しいが、単語の意味を解説してあげるとより一層面白みが増すだろう。ALTの先生と一緒に楽しむのもよい。

アラスカたんけん記

星野道夫 文・写真

福音館書店 1990年

アラスカに憧れた著者が、度々アラスカを訪れて記した探検記。人々の暮らしや自然、動物たちのようすなど、著者が体験したできごとや風景を、豊富な写真と語りかけるような文章で伝えてくれる。1日中日が沈まない白夜の夏と、ほとんど太陽を見ることのない極寒の冬。その暗い空を彩るオーロラの光。厳しい自然と人をひきつけるアラスカの魅力に触れることができる1冊。

ジス・イズ・パリ

ミロスラフ・サセック 著；松浦弥太郎 訳

ブルース・インターアクションズ 2004年

世界の都市を描いた絵本「ジス・イズ」シリーズの第1弾。エッフェル塔などの観光名所はもちろん、旅では見過ごしがちな日常風景や街の人々の様子を紹介したパリの街案内。歴史についても触れられており、パリの街を実際に歩いた気分になれる。落ち着いた色合いのユーモラスな絵がパリの魅力を引き出している。原書の初版は1959年だが、巻末に現在の様子が文章で補われている。

ミラクルバナナ

ジョルジュ・キャストラ、ロドニィ・サン・エロワ 作

ルイジアーナ・サン・フルラン 絵；加古里子 文

学習研究社 2001年

バナナの紙でできた絵本。バナナは、東南アジアや南米など、暑い地域で育つ多年生草本、つまり「草」

である。茎の丈は高いもので 10m に達するが、収穫後は切り倒され、捨てられる運命にある。そんなバナナの茎を原料に、南米のハイチと日本の共同プロジェクトにより、古代和紙の製法を用いて、この本のバナナ紙は作られた。ぜひその感触を楽しんでもらいたい。

I numeri (イタリア語) (英語) すうじ

Luigi Veronesi Corraini editore c1997

イタリアのグラフィックデザイナーによる数字を知るための絵本。イタリア語と英語でテキストが書かれている。指と色、さまざまな形を用いて 0 から 10 までの数字を表している。白地に指の写真、黒字に鮮やかな色彩の図形がある。1945 年に子どもの本としては初めて写真が使われた。

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 児童サービス企画係
URL : <http://www.kodomo.go.jp/>